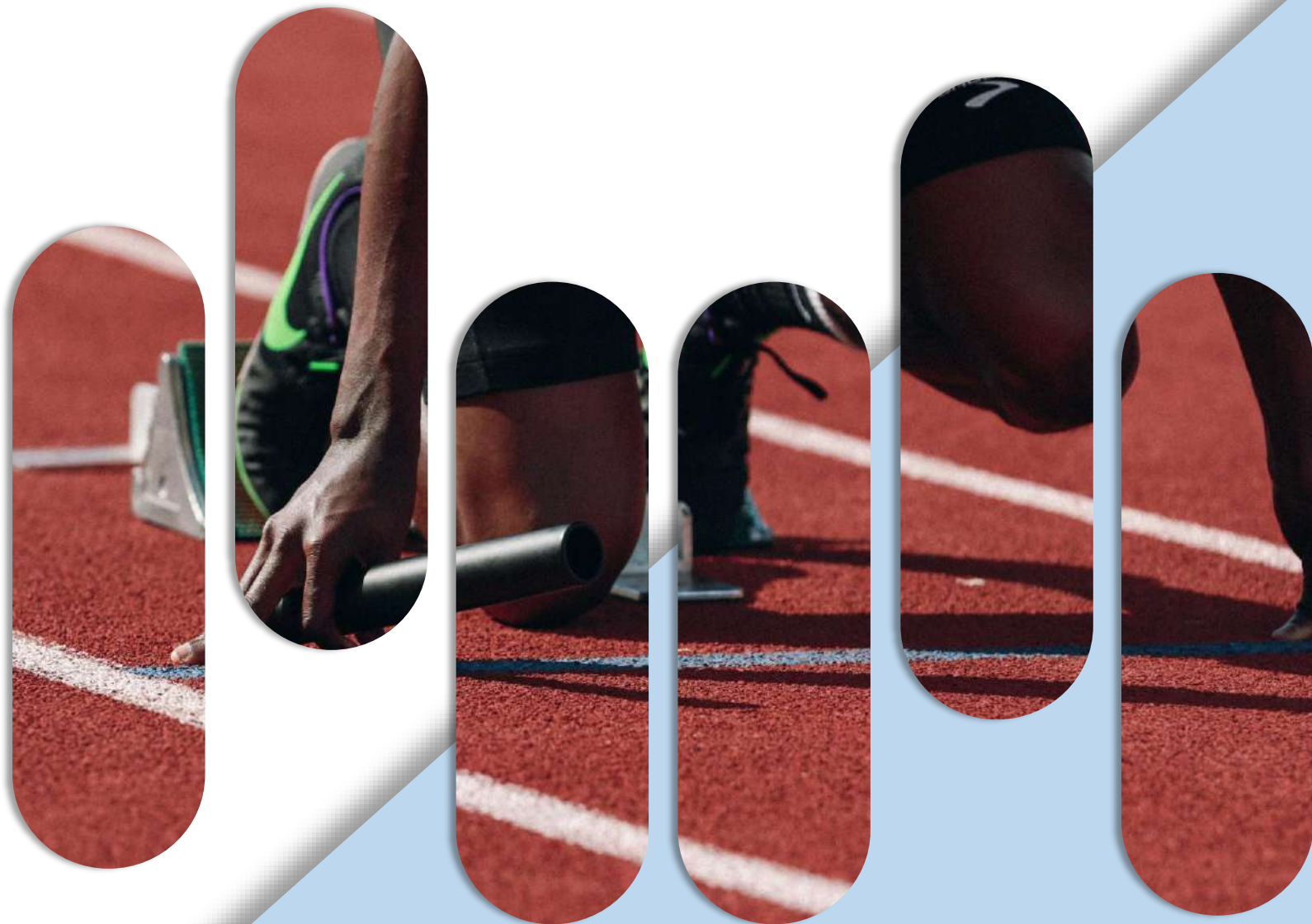


活動報告

スポーツ振興

西澤 歩夢



項目

1

リュシオスポーツクラブ

2

部活動地域展開

3

その他の活動

4

今後に向けて

クラブ

サッカー、陸上、バドミントン サポート(コーチ)

- サッカー(水、土)
練習の中で気になった部分をピックアップして選手にアドバイスを伝える。実際に練習にも参加しながら様々な視点でポイントを伝える。
- 陸上(月、土)
メニューの考案、フォームについてのアドバイス。
ドリルやラダーなどの練習では、選手のお手本になり動きで伝える+言葉で伝える。
- バドミントン(水、土)
アジリティトレーニングをメインで行う。
練習の補助であったり、身体のリカバリーやリスクの管理も行っている。



アカデミー



様々な年齢層に合わせた教室

かけっこ教室やリンパ操体、親子スポーツ道場といった運動系やミニ四駆、ガンダムプラモデルの作成といった教室もあります！

主に運営の部分また運動系の教室では、コーチになったり多くの関わり方をしています。

人それぞれの目的や楽しみ方があり、発見が多いです！

トライアスロン 体験会

バイクとランの2種類を体験！
トランジション(切り替え)が重要。
初めは手こずる部分も見えましたが
最後のほうになると慣れてきて
いかに早くできるか
そんな場面も見ることができた。



ほたるの里 リレーマラソン

運営、ランナーとして参加。
運営としてイベントを支え、ランナーとして
走り、またチームメイトとして応援する、
1日で様々な関わり方をすることができた。
多くの視点を持って何かを作り上げる
ことの重要性を改めて認識できた。



部活動地域展開



各地域スポーツクラブ視察

指導者の確保、金銭面、送迎の負担といった課題に対して意見を交わした



連絡協議会への参加

各地域の進捗状況を共有し課題点などを擦り合わせる



中学部活視察

練習の雰囲気、先生とのコミュニケーション
現場での情報収集

アソビのトビラ

地域展開の事業として25年12月からスタート。
部活がなくなった後の「運動ができる場所」をイメージし、
楽しむことに重点を置いた事業。

アルティメット、バドミントン、タグラグビー、スポーツ鬼ごっこの4種類を行った。準備運動から始まりアップ、試合、休憩の時間にはちょっとしたレクや体の知識的なことを伝えるという飽きさせない工夫も取り入れている。

なかなか人が集まらないのが現状だが、来てくれた生徒さんは楽しんでくれていたので、人を集める部分であったりシステマ的なところは今後の課題となった。

また部活が現在ある中での共存というのが難しい部分で地域展開に対する動きをもっと自分から発信していかなければならないことにも改めて再確認できた。

4月から本格的に進めることを考えており、現段階の修正案として種目の変更、曜日(日数)の追加、小中高との連携といった部分を重点に検討中。



活動内容・募集要項

学年：中学1年生～中学3年生
活動日時：スケジュール参照 15:30～17:00
活動場所：辰野中学校体育館
活動日：12月10.17日 1月14.28日 2月4.18 3月4日

見学・体験参加も大歓迎！

毎日じゃなくていい。好きな時に好きなだけ体を動かしたい。楽しみたい。
そんなニーズに合わせた活動です！
お友達を誘ってぜひ来てください。

※保険についてはこちらで加入します。

みんなで楽しく
体を動かそう！！



詳細・お申し込みはホームページまたはお電話からお待ちしております！

教育委員会学びの支援課
辰野町公民館
担当 地域おこし協力隊 西澤

TEL 0266-41-1681
受付時間:平日8:30～17:00
Mail:sport.kyouryokutai@gmail.com



その他の活動

1. スポーツ推進委員会との連携

研修会や協議会長野大会等に参加し、部活動の地域展開における、スポーツクラブとスポーツ推進委員会の関わり方や、地域における推進委員会のあり方を確認することができた。

スポーツフェスティバルや西小学校では、推進委員会としてニュースポーツのブースや授業を持つことがあり、どれもみんなが夢中になって取り組んでいたのが印象に残っている。

レッツトライ親子スクールでは、多くの家族に来ていただき様々なスポーツをする楽しさを実感できた。また年代関係なくスポーツをする姿は今後のスポーツの振興という部分ではすごくいいものだと感じた。



2. どろん田バレーボール

5月から打合せが始まり、参加チームの確定、顔合わせ、前日準備等々、あっという間に本番が来たことを覚えています。

立場としては、実行委員長のサポートをメインに審判のまとめ役を担いました。

川島のおじいちゃん達のことを大切にしながら、でも持続可能なものにしていかないといけない難しさが常にありました。

どの場面でも多くの方々に助けられ、また言い方を変えると1から参加者全員、関わる方全員で作りに上げているイベントだなと深く感じた。

スポーツで辰野町を盛り上げるとというのが自分のミッションとしてある中で、地域にあるものを使い、様々な場所から多くのひとがきて、その場所、人が活性化していく姿は、スポーツ振興としてあるべき姿だなと実感できた。

ただ盛り上げるのではなく、そこに暮らす人、そこに来る人それぞれの思いを大切にしながら作り上げることが今後の課題というか重点になることを十二分に覚えておきたい。



蛇石祭り



打ち合わせや会場のレイアウトを行い当日は魚のつかみ取りをメインに担当。朝一から魚を取りに行き、つかみ取りの場所のレイアウトをおこなった。想定以上の人数になり、細かい部分の詰めが甘かったと感じた。スムーズな運営のためには準備の段階から様々なリスクを考え、対応できるようにする重要性を改めて認識した。

運動講座



計5回受講。
小中学生の運動(体育授業)をメインとした講座。子供たちの反応を見ながら臨機応変に運動の内容を変え、飽きさせないメニューの作り方や、各年代にあった運動のレベルを確認し、実際にグループでメニューを作る流れで行った。正解がない中で、メニューの意図がそれぞれあり、どれも理にかなったもので思考力の柔軟性を大切にしたいと思えた。

今後に向けて

01

アソビのトビラ本格化

02

アカデミーの教室を持つ

03

小中校との連携強化